

2023年10月期第2四半期 連結決算の概要

2023年6月8日

株式会社トップカルチャー

(1) 総括

当社グループの2023年10月期第2四半期連結決算（2022年11月1日～2023年4月30日）は、以下の通りです。

- ・売上高は、102 億 65 百万円（前年同四半期 113 億 87 百万円）
- ・営業損失は、1 億 66 百万円（前年同四半期営業利益 55 百万円）
- ・経常損失は、1 億 95 百万円（前年同四半期経常利益 53 百万円）
- ・親会社株主に帰属する四半期純損失は、2 億 44 百万円（前年同四半期純利益 19 百万円）

（参考）

事業転換における売上の状況

※収益認識基準適用前の総額売上高

既存店比較

	前年	当年	前年比	百万円
■蔦屋書店事業	10,735	9,809	△ 926	91.4%
■トップブックス(ふるいち)店舗	205	928	723	452.0%
小売店舗事業計	10,940	10,737	△ 204	98.1%

全店比較

	前年	当年	前年比	百万円
■蔦屋書店事業	11,529	10,330	△ 1,199	89.6%
■トップブックス(ふるいち)店舗	205	928	723	452.0%
小売店舗事業計	11,734	11,258	△ 476	95.9%

※閉店店舗による影響 △661百万円／9 店舗

(2) 連結業績の要素別分析

食品やコスメ、服飾等企画販売は好調に推移、また事業転換の新規事業である「DAISO」を 2022 年 11 月と 2023 年 3 月に 2 店舗導入し、売上を牽引いたしました。なお、DAISO に続く新規事業として「ガシャポンバンダイオフィシャルショップ」も 2023 年 4 月に埼玉県内の 2 店舗にオープンし、レンタル部門の事業転換による推進効果が期待される状況であります。

前期より継続していますゲーム・リサイクル事業の子会社トップブックス（ふるいち）への切り替えも、2023 年 4 月 30 日時点で 20 店舗切り替えが完了、品揃えや在庫強化が奏功し、その中でも、特にトレカ売上が牽引した結果、蔦屋書店事業のゲーム売上を大きく上回る売上を創出しました。引き続き事業切り替えを推進していきます。

一方で当第 2 四半期期末までに東京都内他 9 店舗の営業を終了したことが減収に大きく影響いたしました。

また、閉店に伴うコストや人件費の負担、さらに固定資産処分損を特別損失に 34 百万円計上したこともあり、純損失となりました。

(3) 今後の展望(中期経営計画の最終年)

第3四半期以降につきましても中期経営計画の基本方針に従い、主力の書籍、特撰雑貨・文具の強化に加え、「DAISO」や「ガシャポンバンダイオフィシャルショップ」、「トップブックス（ふるいち）」の事業転換を推進し、新規顧客や幅広いターゲット層の集客により、スピード感のある集客力・売上効果に繋がってまいります。なお「DAISO」は5月に2店舗出店済、6月には2店舗出店予定です。「ガシャポンバンダイオフィシャルショップ」も5月に2店舗出店済、6月には2店舗出店予定です。

お客様に感動を発見・体験していただけるオリジナリティある商品や販売企画を提供し、“蔦屋書店”のリモデル化を継続いたします。

なお、当社運営の蔦屋書店内で 22 店舗のタリーズコーヒーを運営しておりました株式会社メソッドカイザーを、2023 年 6 月 5 日付で当社グループの子会社とすることを公表いたしました。当社事業のシナジー効果が高い Book&Café スタイルについても、戦略を合わせて展開強化いたします。

以上

本文書に関するお問い合わせ先：株式会社トップカルチャー 取締役財務部長兼管理部長 遠海 武則

〒950-2022 新潟市西区小針4-9-1 電話 025-232-0008